



ちょっとだけ藪漕ぎ 北海道胆振 小 花井山(418.3m) (ハイキング / 支 笏・洞爺)

by
gekiyabu 

日程：

2012年06月23日(日帰り)

メンバー：

gekiyabu

天候：

曇り

地図：



WEB SERVICES BY YAHOO! JAPAN

標高グラフ：

コースタイム：

13:31 林道分岐 – 13:34 林道終点(電波塔) – 13:38 小花井山 – 13:40 林道終点
– 13:43 林道分岐

コース状況／その他周辺情報：

- ・ 山頂直下に電波塔があり、そこまで林道あり
- ・ 林道はダートだが普通車でも可。ただし最後の200mくらいは草むらに覆われるため、林業作業で広く伐採された地点から歩くのが安全
- ・ 山頂直下で林道が2手に別れるが右側の林道が山頂直下に達する
- ・ 電波塔のすぐ裏が三角点のある山頂。電波塔から数10mだが道は無く笹藪を漕ぐ。冬

枯れのシーズンの方がよい

・三角点周辺は刈り払われていたが周囲は樹林で展望無し

写真：



林道入口。ゲートあるが開放



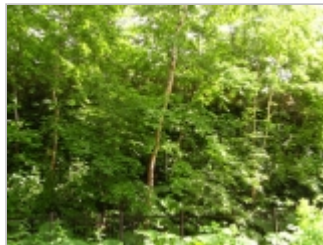
林道分岐に無理やり駐車。造林地帯に駐車が望ましい



右の林道を進む



終点は電波塔入口。右奥が山頂



尾根取り付き



尾根に出た



山頂の三角点。ストックが落ちていた

感想／記録：(by gekiyabu)

林道入口のゲートが開いていたので進入。山肌は大規模に伐採され造林作業中のようだ。造林帯を抜けると林道は草っぽくなり、林道が二手に分かれたところで道は更に草ぶれたため分岐に車を置いて歩き出す。右手の道の方が草が少なくまともそうなのでそちらに行く。

林道終点は電波塔入口。GPSの表示では山頂まで数10mで直下まで来ている。まさか敷地内か？と思ったが、敷地外の右手に高まり発見。ここが山頂らしい。敷地の右手から攻めれば最短だが南向きだからだろうか藪が深く、遠回りであるが左手から登ることにする。

フェンスに沿って進み藪の笹が薄いところから尾根に這い上がると笹藪が続くが、激藪のレベルからは程遠く漕ぐのに苦労はない。少し濡れているのがいやらしいが両手で掻き分けながら進み最高点に到達すると、意外にも刈り払われたスペースに三角点が埋まっていた。そしてスキーのストックが1個地面に刺さっていた、というか藪に寄りかかって立っていた。冬場の訪問者がいたということか。周囲は樹林で展望皆無。今の時期のこの藪ではダニや毛虫が付く可能性大で、冬枯れの時期に攻めるのが得策だ。

Copyright(c) Yamareco. All Rights Reserved.
<http://www.yamareco.com/>